



～ありがとう これからも地域とともに～

兵庫丹波の森協会ニュース2021



兵庫県丹波地域において、平成元年(1989年)に「丹波の森構想」が策定され、森・畑・田・集落・河川などを含む地域全体を「丹波の森」とし、みんなが協力して、この環境を守り、次代に繋ごうとする取組が行われてきました。

構想の推進母体として設立された(公財)兵庫丹波の森協会では、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)を活動拠点として、丹波県民局、丹波篠山市、丹波市といった行政をはじめ、地域や市民活動団体と連携し、森づくり(地域づくり)活動を展開しています。令和3年(2021年)に実施しました主な取組を兵庫丹波の森協会ニュースとしてお知らせいたします。

また、令和3年5月には、丹波の森構想を精力的に推進して頂いた河合雅雄先生(丹波の森公苑名誉公苑長、丹波篠山市名誉市民)がご逝去されるという寂しいニュースもありましたが、先生のご遺志をしっかりと受け継ぎ、丹波の森づくりを推進していきます。

新は新規事業、**継**は継続事業です。

トピックス

河合雅雄先生 ありがとうございます

世界的に知られる霊長類学者で丹波の森公苑名誉公苑長の河合雅雄先生が、令和3年5月14日逝去されました。

丹波篠山市在住の先生は、平成8年4月の丹波の森公苑開苑にあたり、初代公苑長に就任され、その後、平成15年11月に財団法人丹波の森協会(現公益財団法人兵庫丹波の森協会)副理事長も兼ねられ、平成17年6月に退任されるまでの9年余りの間、人と自然と文化が調和した地域を「丹波の森」と呼び大切に守り育てていこうとする丹波地域の人々の思いを大切に、様々な取り組みを進められ、丹波の森公苑の礎を築かれました。退任後は、名誉公苑長として、ふるさと丹波の地域づくりの活動を温かく見守り続けてこられました。

先生は、丹波地域の美しい自然を愛され、丹波篠山で少年時代を過ごされた経験と、霊長類学の権威としての業績は、そのまま丹波の森公苑の活動の原動力となりました。

国蝶オオムラサキの保護増殖のためには、その餌となるエノキの葉が不可欠と指摘されて、公苑内には多くのエノキが植樹されました。また小学生を対象にした丹波縄文の森塾は、少年時代の想いを今の子どもたちに伝えたいとの先生の強い願いで始められたものです。

ふるさと丹波への愛情は、児童文学者としての道にもつながり、自伝的小説「少年動物誌」は「森の学校」という映画にもなりました。里山の大切さを訴え続けられた先生は、丹波の森公苑だけでなく、丹波の地域づくりやひとづくりに力を注がれました。

私たちは、河合雅雄先生のご遺志をしっかりと受け継ぎ、より豊かな丹波の森づくり、ひとづくりにいっそう励みます。



国蝶オオムラサキ放蝶会にて

新 シンポジウム「丹波の森づくりの新展開に向けて～次代のもりびとと共に～」を開催

昭和63年(1988年)の「丹波の森宣言」で始まった丹波の森づくり30周年記念事業(平成30年11月18日開催)を受けて、現在、UIJターン者と創る地域の新たな活力を考えるシンポジウムを開催しました。具体的には、移住者増大と地域再生に向けた丹波地域でのこれまでの取り組みから、今後の移住スタイルのあり方を次代のもりびとと共に探りました。コロナ禍で地域、地方に対する見方が変わる中、次代のもりびととして、地域住民と移住者がそれぞれの持ち味を活かし、新たな丹波の森づくりを担う活動の拡大、それを支援する方策などが提案されました。

○日時：8月9日(月・振替休日)13時30分～16時

○場所：丹波の森公苑ホール

○内容：第1部 丹波の森研究所における調査研究の報告

- ・地域活動の実態と小規模集落化との係わり(丹波の森研究所)
- ・移住者増大に向けた取り組みと課題(兵庫県立人と自然の博物館)
- ・地域環境の魅力と課題(大阪府立大学)
- ・二地域居住の実態と今後の可能性と課題(丹波の森研究所)

第2部 これからの移住スタイルについて

- ・丹波県民局でのこれからの取り組み(丹波県民局長 今井 良広)
- ・パネルディスカッション

移住者+地域サポーター(中川 ミミ、安達 鷹矢)

地元住民+地域コーディネーター(足立 仁、佐々木 幹夫)

地域再生の専門家(出町 慎、平櫛 武)

コーディネーター(上甫木 昭春/丹波の森研究所)



講演会



パネルディスカッション

新 昆虫大捜査線 in 丹波の森公苑

丹波の森公苑の芝生広場を利用して、兵庫県立人と自然の博物館自然・環境再生研究部コミュニケーションデザイン研究グループの八木剛主任研究員及びNPO法人こどもとむしの会の指導のもと、小学生及びその保護者が昆虫採集、展示、解説、質疑応答などの体験を通じて、昆虫の生態や自然環境を学びました。

また、さまざまな生きた昆虫に触れる機会を提供することにより、環境や生物に対する興味関心の向上に寄与することができました。

- 日 時：8月28日（金）17時～19時
- 場 所：丹波の森公苑中庭広場ほか
- 対 象：小学生以下の子ども及び保護者
- 参加者：21組の親子（子ども 21人、大人 54人）
総計75人
- 捕まえた昆虫数：69種 296匹



昆虫採集



昆虫の展示

新 丹波の森公苑 散策道道標リニューアル

丹波の森公苑の里山は、入口付近が標高134m、東頂上が最も高く377mと高低差243mとなっています。この里山には、麓から中腹、尾根まで散策道がつけられており、ハイキングや自然観察などを目的に多くの方に利用いただいています。

3月に、丹波の森公苑の里山の利用者が快適に歩けるように、散策道の老朽化した道標をリニューアルしました。

道標は、散策道の主な分岐点に15基を設置し、それぞれに主要な経由地点までの距離も明示しており、これまで里山愛好家や丹波自然友の会をはじめ、多くのハイカーが里山を楽しむ際の一助となっています。

11月には、丹波縄文の森塾の参加者30人が、尾根筋の散策道を走破しました。



リニューアルした道標



散策道からの眺望

新 サイクルステーション完成【丹波並木道中央公園】

丹波県民局により設定されているサイクリングモデルルート「兵庫丹波チャレンジ200」の発着地として拠点となるサイクルステーションが、丹波並木道中央公園にオープンしました。駐車場、トイレ、コインシャワー室、更衣室などの施設を有し、サイクリストの発着地の拠点だけではなく、屋内休憩施設として、さまざまな方に利用していただけます。

○オープン日：10月23日（土）



サイクルステーション外観

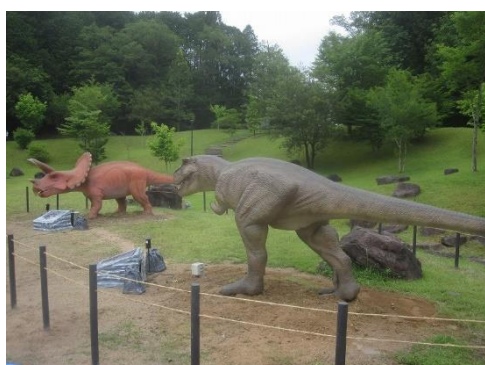


内観

新 動く恐竜模型完成【丹波並木道中央公園】

丹波並木道中央公園の森林活動センター前の広場に2体の動く恐竜模型が設置されました。全長約5メートル、高さ1.7メートルのトリケラトプス&ティラノサウルスの2体の恐竜模型が、鳴き声をあげながら動きます。（土日祝のみ）

○展示開始日：7月3日（土）



動く恐竜（2体）



オープニング式典

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

丹波の森大学を開講

丹波の森構想を実現するための学習の場として、新しい時代のなかで個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのための講義と現地学習を交えた講座を展開しました。

今年の学習の基本テーマを「森の声を聴く」とし、大学などで教育・研究を行いながら地域づくりの第一線で活躍されている講師による講義で、丹波地域の森林の特徴、人とのかかわり方などを学びました。

- 期 間：5月29日（土）～令和4年1月22日（土）全9回（うち1回現地学習）
- 場 所：丹波の森公苑多目的ルーム、丹波篠山市民センター、滋賀県近江八幡市（現地学習先）
- 受講生：57人



第6回講義（公開講座）



現地学習（滋賀県近江八幡市）

たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの主要施設や恐竜化石の発見地など、何度も訪れたくなるような恐竜ゆかりの地をスタンプスポットとした「たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー」を実施し、多くの方の参加がありました。

- 期間：11月13日（土）～12月19日（日）
- スタンプスポット（10か所）
西紀S A上り線、西紀S A下り線、太古の生きもの館、丹波並木道中央公園、篠山チルドレンズミュージアム、篠山城大書院、川代公園、元気村かみくげ、恐竜化石・世界最小の恐竜卵化石発見地、ちーたんの館



スタンプラリースポット
（恐竜化石・世界最小の恐竜卵化石発見地）



景品交換（スタンプ2個でガチャ1回）

新 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムオンラインセミナー

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会

「篠山層群」で進んでいる化石発掘調査やその成果を近隣地域の方だけでなく、遠隔地の方にも、広く伝えることのできるオンラインシステムを活用して、地域の魅力を発信し、来訪者の増加につなげ地域活性化を目指すことを目的として、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムオンラインセミナー「恐竜化石調査に参加するってどんなこと」を実施しました。

○開催日：10月31日（日）14時～15時20分

申込不要（参加費無料）YouTubeで生配信

セミナー終了後YouTubeで配信中 <https://youtu.be/zvD5YGPLoTM>

○内 容：・特別配信「恐竜化石の発掘調査に参加しよう！」

化石の発掘から調査まで。実際の現場の様子を解説動画でチェック

・化石を岩石から取り出す「剖出（ぼうしゅつ）」作業をのぞき見

・質問タイム



丹波篠山市太古の生きもの館からYouTubeで生配信



化石保護技術員から剖出作業の説明

継 丹波の森ミニガーデン展を開催

丹波の森ミニガーデンは「丹波の森宣言」30周年記念イベントの一環として、花と緑の美しい地域づくり活動の普及啓発を図ることを目的に、2018年11月から始まりました。丹波の森づくりの一つである身近な庭を花で彩り地域を活性化する『たんばオープンガーデン』とともに、丹波地域の人々が花と緑を通して参加するミニガーデン制作・展示イベントです。制作にあたっては、オープンガーデン参加者や花づくりの愛好家グループ、また中学生や高校生などの皆さんから広く参加がありました。

ミニガーデンの制作・展示は、丹波の森公苑(丹波市柏原町)をはじめ、丹波並木道中央公園(丹波篠山市西古佐)、丹波年輪の里(丹波市柏原町)、道の駅丹波おばあちゃんの里(丹波市春日町)、道の駅あおがき(丹波市青垣町)の5施設、各2庭の計10庭で実施しました。合わせてスタンプラリーも企画し、期間中3施設以上訪問された方には花の種又は缶バッジを渡しました。

○期間：10月2日（土）～31日（日）



制作風景



展示風景

【継】 2021 丹波の森フェスティバルを開催

「自然の中で楽しいひと時を！ ゆったり満喫☆丹波の森公園」をテーマに、2021 丹波の森フェスティバルを開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催。秋晴れの中、約 1,100 人の来場者がありました。

芝生広場にはハロウィンビレッジが登場！ スタッフ手作りの魔法使いの家では、魔女にお菓子をもらって写真撮影を楽しむ家族連れが多く見られました。

森のステージは子ども和太鼓教室のパフォーマンスで幕開け、ウクレレやオカリナ、吹奏楽の演奏、子ども達の合唱や紙芝居、フラダンスなど盛りだくさんの内容で会場は盛り上がりました。

化石発掘体験やツリーイング、小物づくりのワークショップ、シールラリーなども好評でした。感染症対策を実施し、自然の中でゆっくりと丹波の森公園を満喫していただくことができました。

○開催日：10月24日（土）



イベント会場



ハロウィンビレッジ

【継】 「秋の木木市（もくもくいち）」を開催【丹波年輪の里】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止しなければならない状況が2年ほど続き、その間、木の館に木材を搬入してくださる木材業者のおかげで、木の館内の木材販売を続けることができましたが、当日は天候も味方につけ、屋外テントで「秋の木木市」を開催しました。

開始時刻前には多くの方が丹波年輪の里を訪れ、各テントを回りながら希望する樹種を探し、DIY用の木材を購入されていました。

8張りのテント内には各木材業者が搬入した木材が並びましたが、約 1,200 人が来場し、昼頃にはほとんど売れてしまうほど活気ある木材の市になりました。

○開催日時：11月20日（土）9時30分～16時



「国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」を実施

丹波の豊かな里山のシンボル「国蝶オオムラサキ」を知っていただくために、小学生を対象に国蝶オオムラサキの舞う里山イメージについての絵画を募集したところ、181点の応募がありました。応募作品の中から、最優秀賞1点、入賞3点、佳作9点を選び、2021 丹波の森フェスティバルにおいて、最優秀賞の丹波市立崇広小学校3年生の井本一吹希さんに、角野公苑長から賞状を授与しました。

応募作品展を10月30日（土）から11月11日（木）まで、丹波ゆめタウンにおいて開催しました。今後、令和4年1月に兵庫陶芸美術館、2月に丹波の森公苑においても開催予定です。



表彰式



作品展会場

「丹波いきもの大集合」を開催

丹波の森公苑では、良好な里山環境を次世代につなげていくため、環境学習推進事業に取り組んでいます。

7月17日（土）に丹波ゆめタウンを会場として、丹波地域子ども達と保護者を対象に、丹波の森公苑内に生息・飼育している生物を間近で見てもらい、丹波地域の生態等について幅広く学ぶイベントを丹波の森公苑の他、動物や虫等の保護活動に取り組む市民団体「兵庫丹波オオムラサキの会」、「丹波地域のホトケドジョウを守る会」と合同で開催しました。

会場では、オオムラサキの成虫や孵化直後の幼虫、カブトムシ、カナブンなどの昆虫や、ミニプール内のアカハライモリ、カメ等、約20種類のいきものに親しんでもらうとともに、昆虫標本によりさらに多くの昆虫を見ていただきました。併せて、塗り絵コーナーも設け、子ども達に生物への関心を持ってもらうきっかけになったと考えています。

当日は、家族連れを中心に約400人が参加。普段見ることがない生き物や周りにいても気づきにくい生き物が目の前で動く姿に、子ども達は大変関心を寄せていました。

（参考）展示生物

オオムラサキ、カブトムシ、ミヤマクワガタ、ヒラタクワガタ、ノコギリクワガタ、コクワガタ、カナブン、アオカナブン、クロカナブン、シロテンハナムグリ、アオドウガネ、ナナフシモドキ、オオセンチコガネ、タマムシ、オオゾウムシ、ヨツボシオオキスイ、ヤブキリ、ホトケドジョウ、ナガレホトケドジョウ、アカハライモリ、イシガメ、サワガニ、カワニナ



生きものを見る家族連れ



会場の様子

【第4回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」を開催【丹波年輪の里】

「心を届ける たんば絵てがみコンクール」は、家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」の全国公募および展示会です。第4回の募集テーマは「愛」でした。全国40の都道府県から「一般の部」「高校生以下の部」合わせて442名・570点の作品の応募があり、金・銀・銅賞、また「丹波」を題材に描かれた、たんば賞などの入賞作品が15点と、入選作品75点が選ばれました。

また、展示会（丹波年輪の里会場）には747人の来場者があり、心あたたまる多数の絵てがみ作品を楽しんで見ていただき、感動や笑顔を届けることができました。会場では作品の人気投票を行い、「オーディエンス賞」の作品も選ばれました。

○展示期間：2月6日(土)～21日(日)

(その後、兵庫県勤労福祉協会（神戸市）、丹波ゆめタウン、丹波篠山市中央図書館、丹波の森公園にて巡回展示)



一般の部 金賞作品



高校生以下の部 金賞作品

【森の学校（第14期生）の開校【ささやまの森公園】

14回目を数える「森の学校」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮しながら、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育てることを目的に、小学3年生～6年生の15人が1年間、普段の生活とは違う里山での自然体験活動を経験しました。

ボランティアスタッフの指導のもと、自ら体験学習をすることで、たくましさを育むことができました。

○開催期間：5月8日(土)～令和4年3月5日(土)



森のステージで入校式



水辺の生きもの探し

🔗 新たなプログラムを展開【ささやまの森公園】

新型コロナウイルス感染症拡大防止により4月～5月に予定していたプログラムの一部を中止せざるを得ない状況となりました。そんな中ではありますが、新たな体験プログラムの取組みとして、「癒しのテラリウムを作ろう」「森のヨガ」「親子で楽しむ工作～モビールづくり～」 「大人の火起こし体験」「森のサンタを作ろう」「木製のカトラリーを作らしよう」を展開し好評を得ました。



森のヨガ



森のサンタを作ろう

生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行いました。

生活創造活動グループのイベント等を支援

丹波の森公苑では、生活創造活動グループが行うイベントを支援しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、ナチュラルリースづくり、気功体験教室、がま口ポーチづくりなど8件の多彩なイベントが開催され、幅広い年代の参加者で賑わいました。



夏の健康気功体験教室



ハンドメイド教室
「がま口ポーチを作ろう！」

「消費生活にゆーす」の発行

丹波消費者センターでは、6月、9月、12月、3月の年4回、丹波地域の消費者トラブルをなくすため、悪質商法の事例紹介や学習会等の情報を発信する「消費生活にゆーす」を発行しています。また、自治会や老人会等に対する消費生活出前講座を実施しており、申込を随時受け付けています。



出前講座

🔗 兵庫県地域高齢者大学

「丹波OB大学・丹波OB大学大学院」の受講生らと学びと交流を深める！

今年度の兵庫県地域高齢者大学「丹波OB大学・丹波OB大学大学院」は、4月21日（水）に開講しました。丹波OB大学101人、丹波OB大学大学院20人の受講生らが、学習や交流を通じた生きがいがづくり、地域活動の実践等に元気に取り組んでいます。



地域実践の日（7月7日）



看護学生との交流（10月6日）



運動会（10月20日）

🔗 講座「丹波学」丹波ゆかりの人ともの～丹波史研究の最前線～をテーマに開講

「丹波ゆかりの人ともの～丹波史研究の最前線～」をテーマとして開講しました。幅広い時代における丹波史の最前線の研究をされている研究者による講義により、丹波ゆかりの偉人や受け継がれるべきものなど丹波地域の魅力の再発見につながる学習の機会を提供することができました。

○開講日、テーマ、講師 ※時間は14時～15時30分

- ①8月28日（土）「足利尊氏の挙兵と丹波」 花園大学 専任講師 生駒 孝臣 氏
- ②9月18日（土）「戦前戦中における芦田均」 大阪観光大学 専任講師 久野 潤 氏
- ③10月2日（土）「二人の「秀勝」と丹波」 市立枚方宿鍵屋資料館・学芸員 片山 正彦 氏
- ④11月20日（土）「丹波の食材が彩った宮廷文化」 有識故実研究者 美馬 弘 氏
- ⑤12月18日（土）「織田信包の生涯」 (株)歴史と文化の研究所・代表取締役 渡邊 大門 氏

○場 所：丹波の森公苑ホール

○受講生：115人



第1回 講座

🔗 トライやる・ウィーク受入

丹波地域の中学生による就業体験事業「トライやる・ウィーク」で柏原中学校から1名、氷上中学校から2名を受け入れました。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりましたが、今年は活動期間を3日間に短縮しての受け入れとなりました。

里山整備や施設環境整備、パソコンを使ったポスターづくりや広報活動を体験し、就業体験を通じて丹波の森公苑をよりよく知ってもらうことができました。

○受入期間：11月16日（火）～18日（木）



枝打ち体験



ロビーのクリスマス装飾



パソコンを使ったポスターづくり

🔗 丹波の森子どもミュージカル体験塾を開講

丹波の森子どもミュージカル体験塾は、丹波地域の小・中学生、高校生47人の子どもたちが、7月24日（土）から10月16日（土）までの間、劇団ウエスト（大阪府豊中市）の劇団員による指導を受け、16回のレッスンを行いました。

発表公演では、塾生がレッスンの成果を十分に発揮し、元気いっぱいのミュージカルにより、多くの来場者に感動を届けることができました。

○公演日：10月17日（日）

2回公演（1回目10時30分開演、2回目13時30分開演）

○場 所：丹波の森公苑ホール

○出 演：令和3年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生（47人）、劇団ウエストの劇団員

○演 目：スノーホワイト 白雪姫

○来場者：725人（2回公演の合計）



発表公演



発表公演

芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にすることを醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図りました。

【】 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば 2021 を開催

「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」は、27周年を迎えました。昨年はコロナ禍でホールコンサートが中止になりましたが、今年は「今こそ！シューベルト」をテーマに2年ぶりにオープニング・サロンコンサートやガラ・コンサートを開催し、美しい音色が響く秋の日を多くの人々が楽しみました。

また、年間を通して、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサートを実施し、丹波地域の子どもたちに本物の音楽に触れる機会を提供しました。

○オープニング・サロンコンサート

「シューベルトよ、今こそ声・歌・ハーモニーを」をテーマに、VOCAL QUARTET“NOSTOS”による美しい四重唱曲を楽しんでいただけるコンサートを開催しました。

開催日：9月26日（日）

場 所：お菓子の里丹波ミオール館

来場者：116人



オープニング・サロンコンサート

○ガラ・コンサート

「シューベルトよ、今なお未完成だ」～オーケストラと心に響くひと時を～をテーマに、今年のフランツの老田裕子氏（ソプラノ）、音楽監督の畑儀文氏（指揮）のほか、関西フィルハーモニー管弦楽団を招聘し、今年の音楽祭のフィナーレを飾るコンサートを盛大に開催しました。

開催日：11月13日（土）

場 所：丹波の森公苑ホール

来場者：308人



ガラ・コンサート

○街角コンサート

丹波各地2か所において、お寺等を会場にして地域の特色を生かしたコンサートを開催しました。

○ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校10校にプロの音楽家を派遣し、演奏会とワークショップを開催しました。

○キン・コン・カン・コンサート

丹波地域の高等学校、中学校にプロの音楽家を派遣し、演奏会を開催しました。

○フラッシュ・モブ（ゲリラパフォーマンス）

丹波合唱祭（11月21日（日））開催後、丹波の森公苑の中庭にてフラッシュ・モブを実施しました。



フラッシュ・モブ

【アートクラフトフェスティバル in たんば 2021】を開催【丹波年輪の里】

今年で30回目を迎える一大クラフトイベントです。

新型コロナウイルス感染症防止のため2年ぶりの開催となりました。全国各地から木工・陶芸・ガラス・染色など様々なジャンルのクラフトマン135名の参加があり、2日間で約16,000人の来場者が、クラフトマンとの交流を楽しみながらお気に入りの作品を見つけておられました。

○開催日時：11月6日（土）10時～17時
7日（日）9時～16時



【第33回「丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）」を開催【丹波年輪の里】

《集合！遊(あそび)・戯(たわむれ)・木のぬくもり》を趣旨とした、遊び心あふれる木工作品の全国公募および展示会です。

新型コロナウイルス感染症防止のため2年ぶりの開催となりましたが、一般の部では、全国24の都道府県から69名・74点、ジュニアの部では12校から75点の作品の応募があり、グランプリ（文部科学大臣賞）以下各部11点～12点の入賞作品が選ばれました。

また、展示会（丹波年輪の里会場）には747人の来場者があり、木のぬくもりと創造性あふれる個性的な作品を見ていただきました。一般の部の会場では作品の人気投票を行い、「おきにいり賞」の作品も選ばれました。

（一般の部）

○公募期間：7月1日（水）～8月15日（土）

○展示期間：9月19日（土）～10月4日（日）

（ジュニアの部）

○公募期間：8月1日（土）～9月15日（火）

○展示期間：10月24日（土）～11月8日（日）



一般の部 グランプリ作品



高校生以下の部 グランプリ作品

【】 地域文化活動支援事業

(夏休み子ども和太鼓教室・夏休み子ども池坊いけばな教室) を開催

「丹波地域ふるさと芸術文化振興事業」の一環として、「地域活動支援事業(夏休み子ども和太鼓教室・夏休み子ども池坊いけばな教室)」を各5回開催しました。和太鼓教室は、和太鼓の数に限りがあるために定員6人とした募集に対して17人の応募がありました。また、池坊いけばな教室は20人の募集に対して67人の応募があったため、指導者と相談し、40人が受講できる体制を整えて実施しました。

教室での子どもたちの様子を見ると、楽しく、そして熱心に取り組んでおり、伝統文化に対する丹波地域の子どもたちの興味や関心、体験に対する意欲は非常に高いと感じられました。また、12月開催の丹波地域文化活動交流会において、和太鼓教室はステージ発表を、池坊いけばな教室は展示コーナーを設け、体験した成果を披露していただく取組も実施しました。

和太鼓教室

○開催期間：7月27日(火)～8月24日(火)

池坊いけばな教室

○開催期間：7月28日(水)～9月11日(日)



夏休み子ども和太鼓教室



夏休み子ども池坊いけばな教室

【】 丹波文化活動交流会を開催

丹波文化団体協議会に加盟する各文化団体や広域文化団体が2年ぶりに丹波の森公苑に集い、創作展示やステージ公演により日頃の活動の成果を発表し、交流を深めました。

多くの来場者で賑わい、来場者の方々に丹波地域の文化力を見て、聴いて、体感していただくことができ、日本の伝統文化の良さを情報発信することが出来ました。

創作展示の部

○日 時：12月3日(金)～5日(日)

○場 所：丹波の森公苑多目的ルーム他

○内 容：創作展示(書、彫刻、生け花、丹波布、自然研究、夏休み子ども生け花教室)

○来場者 623人

公演の部

○日 時：12月5日(日) 13時～16時

○場 所：丹波の森公苑ホール

○内 容：出演団体(19団体)による発表公演

○来場者：436人



創作展示の部



公演の部

【要】 ふるさとの心をうたう丹波音楽祭—第48回丹波合唱祭—を開催

丹波地域において活動している合唱グループが、日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じた交流を深めることを目的に、第48回丹波合唱祭を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたので、2年ぶりの開催となりました。

丹波の森公苑ホールに美しいコーラスが響き渡り、音楽の素晴らしさが実感できる合唱祭となりました。

- 開催日：11月21日（日）13時30分～15時30分
- 場 所：丹波の森公苑ホール
- 出演者：丹波地域の合唱グループ計12団体
- 来場者：321人



利用者の状況 (令和3年1月～11月末現在)

【丹波の森公苑】	90,214人
【丹波年輪の里】	136,053人
【ささやまの森公園】	24,940人
【丹波並木道中央公園】	184,780人

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-73-0933 FAX 0795-72-5164
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/koukai>
E-mail mori-kyokai@tanba-mori.or.jp

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-72-2127 (代表) FAX 0795-72-5164
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>
E-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3
TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727
URL <http://nenrin.org/>
E-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県丹波篠山市川原八幡谷 511-1
TEL 079-557-0045 FAX 079-557-0201
URL <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県丹波篠山市西古佐 90 番地
TEL 079-594-0990 FAX 079-594-0991
URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>
E-mail namikimichi@tanba-mori.or.jp